

## 鷹狩山周辺の公園化整備事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- 標高 1,164m、大町市街地を眼下に見下ろし、北アルプスの大パノラマを展開する鷹狩山からの眺望は、訪れた人に大きな感動を与えている。平成 14 年に市民有志が企画したトレッキングイベントを契機として、荒れ果てた鷹狩山の整備を行い「鷹狩山に展望公園をつくる会」を発足した。
- 地域資源に着目した市民ボランティアによる協働の取組により、自然豊かな「癒しの場」の創造を目指す。

### 事業内容

- 植生を尊重した自然公園の造成  
これまで山頂の展望台地の整備、遊歩道や植物園の造成、植物解説板等の設置に取り組んだ。長野県準絶滅危惧種のサユリ等、希少植物の保全・保護を行っている。
- パンフレットの作成  
山野草等の花ガイドや市内の観光スポットを掲載して大町市の魅力をアピールし、積極的な誘客活動に取り組んだ。



### 事業効果

- 取り組みを始めてから 10 年余が経過し、市内外から多くの来訪者が訪れる「癒しの場」として高い評価を受けている。
- 来訪者の動向とニーズを知るためノートを設置し、北海道や沖縄から訪れている方、またリピーター客が多いことも分かり、展望公園の活用方法により、更なる観光振興への役割が期待される。
- 登山学習や自然環境学習の場、植樹や森の整備を通して姉妹都市交流の場として活用されており、大人から子どもまで何度も訪れたいくなる展望公園へと成長している。平成 24 年度 来訪者数 19,000 人



【鷹狩山展望公園】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 絶景スポットとして知られる展望公園だが、曇天時でも来訪者に楽しんでいただけるよう、眺望以外での魅力づくりが求められた。観光スポットの紹介や「市民ギャラリー」を設置するなど、市内への回遊性を目指した情報発信を行っている。
- 「北アルプスの絶景に声がでません」など感動の声、整備活動への感謝と激励の言葉をいただき、会員の励みとなっている。今後も来訪者の要望に応える改善を行いながら、行政とも連携し、八坂地区側の「鷹狩山市民の森」との総合的な公園整備に取り組んでいきたい。

**【選定のポイント】**  
 これまで整備を続けてきた展望公園のパンフレットを作成し、関係者の協力を得て広くPRすることができた。これからも公園の維持管理を続けながら、行政とも連携し、より多くの人を訪れる公園として定着することが期待できる。

団体名 鷹狩山に展望公園をつくる会（大町市） 連絡先 0261-23-2915（野村 透）	事業タイプ	ソフト事業
	事業費	420,000円
	支援金額	400,000円